

令和 5 年 4 月 26 日

全国大学博物館学講座協議会
西日本部会加盟大学 様

全国大学博物館学講座協議会
西日本部会長 緒方 泉
(公印省略)

令和 5 年度全国大学博物館学講座協議会西日本部会 研究助成について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、本協議会にご協力・ご高配を賜りまして誠にありがとうございます。
さて、令和 5 年度全国大学博物館学講座協議会西日本部会研究助成の募集要項
を、別紙のとおり送付します。

つきましては、令和 5 年度研究助成を申請される場合は、7 月 31 日（月）ま
でに研究助成申請書を事務局までご提出ください。

謹白

*研究助成申請書のファイル（Word 形式）を希望される場合、下記アドレスまでご連絡ください。
メールの表題については、「全博協西日本部会研究助成資料送付希望」をお願いいたします。

問い合わせ先 九州産業大学教務課 全博協西日本部会事務局（担当：中村）
〒813-8503 福岡市東区松香台 2-3-1 TEL：092-673-5504
FAX：092-673-5959
E-mail：nakahiro@ip.kyusan-u.ac.jp

なお、本年度の西日本部会大会は、11 月 17 日（金）～18 日（土）に関西大学
千里山キャンパスで開催予定です。

全国大学博物館学講座協議会西日本部会

令和 5 年度研究助成 募集要項

1. 研究助成の趣旨

博物館学講座・課程の充実・発展に寄与する研究・調査に対して研究助成金を交付するものです。研究助成の対象は、博物館学概論・博物館資料論・博物館資料保存論・博物館経営論・博物館展示論・博物館情報メディア論・博物館教育論・博物館実習・社会教育・生涯学習等博物館学研究領域に関することとします。

2. 助成期間

令和 5 年 10 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日

3. 助成額

1 件当たり 30 万円を上限とします。具体的な助成額は、研究助成申請者の申請金額を助成額とします。但し選考委員会の選考をもって決定します。

4. 申請資格

- (1) 全博協西日本部会加盟校の教員・職員が申請できるものとします。但し研究代表者は、常勤のみとします。
- (2) 他の研究助成制度との重複申請はしないでください。
- (3) 同一大学による同一テーマでの複数年申請は認められません。

5. 申請方法

- (1) 所定の申請用紙に必要事項を記し、事務局宛に送付してください。
- (2) 申請用紙の送付先

〒813-8503 福岡市東区松香台 2-3-1

九州産業大学教務課 全博協西日本部会事務局 宛

※申請用紙に記載すべき必要項目に遺漏がある場合は審査対象外になりますので、ご注意ください。

6. 申請受付期間

令和 5 年 6 月 1 日（木）～ 令和 5 年 7 月 31 日（月）。期間内必着とします。

7. 選考および結果発表

研究助成選考委員会での選考によって決定します。採否については令和 5 年 11 月までに封書によって申請者に通知します。

8. 助成金の交付

助成対象者決定後（総会后）、申請者の指定する口座に振り込みます。

9. 研究成果報告および収支報告

研究成果は、令和 6 年開催の西日本部会大会において口頭発表していただきます。研究期間終了後、研究成果報告書および収支報告書を事務局に提出してください。提出期限は令和 6 年 9 月 30 日とします。各報告書は所定のものを用いてください。研究成果を公表する際には、本助成を受けて実施された旨を明記してください。

10. その他

本研究助成は、全博協西日本部会の定める研究助成規程によって行います。

全国大学博物館学講座協議会西日本部会 令和5年度研究助成 申請書

研究課題	
研究領域（該当する分野に○を付けてください） 博物館概論 博物館資料論 博物館資料保存論 博物館経営論 博物館展示論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館実習 社会教育 生涯学習	
研究代表者（フリガナ）	フリガナ：
	氏 名： 印
生年月日・年齢	生年月日： 年 月 日生 年 齢： 歳
申請者自宅住所	〒 — 電 話： F A X： e-mail：
所属機関・職名	所属機関： 職 名：
所属機関住所	〒 — 電 話： F A X： e-mail：
申請者の研究歴および主な業績	
共同研究者または研究協力者（氏名・年齢・所属機関・職名）	①氏 名： 年齢： 歳 所属機関： 職 名：
	②氏 名： 年齢： 歳 所属機関： 職 名：
	③氏 名： 年齢： 歳 所属機関： 職 名：

研究の概要（250 字程度でまとめて下さい）

研究の内容（(1) 目的、(2) 具体的な実施計画、(3) 意義および期待される成果について項目別に簡潔にまとめて下さい）

（1）目的（学術的背景、核心をなす学術的問い）

（2）具体的な実施計画（何をどのように、どこまで明らかにするのか）

（3）意義（学術的独自性と創造性）および期待される成果

